



学びの共同体の学校づくり

◆1つのビジョン

一人残らず質の高い学びを保障する学校づくり

- ▶学校の改革に最も大切なのはビジョンです
- ▶ビジョンをもつことで教師の努力の方向性を明確にします

◆目指す学校

- ▶子供達が学び育ち合う学校
- ▶教師も教育の専門家として学び育ち合う学校
- ▶保護者や市民も学校改革に参加し学び育ち合う学校

◆3つの哲学

公共性の哲学

学校は公共の空間です。
 子供は学校だけでなく、地域の子供でもあります。
 常に教室を開き、全ての同僚と共に子供を育てます。

民主主義の哲学

学校の全ての子供が主人公です。
 職員室では固有名詞で全ての子供の様子を語ります。
 子供と子供、子供と教師、教師と教師の間に聴き合う関係をつくります。

卓越性の哲学

学校は最高の学びを追求する場です。
 教育とは習慣の形成です。
 レベルの高い課題で最高の学びを追求する習慣を形成します。

◆3つのアプローチ（3つの哲学を達成するためのシステム）

教室で

子供どうしの聴き合う関係を大切に、互恵的な学び、協働的な学びを推進します。
 <聴き合う関係をつくります>

職員室で

校内研修を大切に、教師の学びの共同体と同僚性を構築します。
 <聴き合う関係をつくります>

地域で

地域の方々の「学習参加」を通して、学校理解を促し、保護者や地域の方々とも学びの共同体を構築します。
 <聴き合う関係をつくります>